

令和 3 年度 富士顕彰実施報告と改善について

令和 4 年 5 月 11 日

スカウト進歩委員 担当 西脇 全宏

実施日 令和 4 年 3 月 6 日 (日)

開催場所 一宮スポーツ文化センター小ホール

参加者 富士顕彰 授与スカウト 11 名 保護者・同伴者 28 名

県連役員 8 名 奉仕コミッショナー 8 名

スカウト進歩委員 15 名 ローバースカウト 12 名

当日は 富士顕彰関係者とフロンランナープログラム表彰式関係者 約 60 名が

出席され 総人数で約 140 名になる。

<事前準備と改善点>

①事前段階 会場準備・受付 スカウト・関係者の移動になどの指示については スカウト委員会が
主体となり 式典運営・発表については ローバースカウトの方で行う事とした。

②今回の顕彰 授章式は コロナ禍の中で開催されるということで 事前の会議で開催の可否に
ついて取り決めを行った。

③事前の顕彰実行委員会については 6 回程行い、ウ打ち合わせの結果等については Googledrive の
共通フォルダーにて お互いに確認できる様に進めた。

④資料に関しては全員が閲覧でき方法的には良かったと思います。

ただ お互いの資料が膨大になり其々の関係する資料以外の資料について確認を怠っており

式典進行で一部滑落していた資料(式次第など)が有ったので次回からはトータル的な

最終確認を「誰が どの段階で行うか。」という課題が残った。

<受付～式典の流れと改善点>

①顕彰当日の進行については集合等について特に問題なく集合できたが、朝一の抗原検査をスタッフ全員約40名近くが短時間に行うため手間取った面もあった。

②受付開始時間が 若干遅れた面もあったが ほぼ 時間通りに進むことが出来た。

受付に関してはスカウト委員会6～7名で手分けをして行った結果、特に問題はなかった。

出来れば今後検査については事前に配布するかして自宅で行ってもらう事でスムーズに受付できるかと思います。

③検査でイレギュラーの結果が出た者も後の2回の検査で陽性の結果が出た事も有り

全員検査をして良い状態で進めることが出来た。

<会場について>

①会場に関しては 式典用の小ホール（定員 約270名／2）の他に会議室・研修室（58名／2）など4室の部屋を借用し進めた。

②受付・抗原検査で1部屋 抗原検査待ちで1部屋 検査陰性者で1部屋の計3部屋を使用し

1部屋は 県連役員 奉仕者の控え部屋に使用した。

部屋数に於いては会場以外に4部屋借りることで参加者・保護者・関係者の控室も

しっかり分けることが出来 良かったと思います。

③受付検査後、顕彰スカウトはリハーサルにホールの方に向かい保護者・関係者は控室にて

待機して頂きましたがホールでのリハーサル進行時間と控室からの見学者移動時間が若干

早く入場してしまいリハーサル途中で見学者の方の目に入ってしまった事は良くないと感じた。

④進行に関してはリハーサルを担当しているRSからの指示で誘導すべきと改める必要が有ると

感じました。

⑤式典・発表については 後日 RSからの報告をお願いしています。

<総括>

今回については富士顕彰とフロンランナー表彰式と2つが重なる式典で進める内容となり

人流に関して振り分けが厳しい状況もありました。

其々の会場・部屋とのコミュニケーションツールとしてトランシーバーを準備したが

「会場内で声が聞こえる」との理由で使用を控えた事で各部屋との連絡がうまく取れなかった。

イヤホン等を準備することで解消できるかと感じた。

また事前の会議で最終資料や配布物を書面などで確認を怠らない様にする必要があり今後の為に

必要事項のチェックリストを作成し 各項目チェック出来るようにする必要が有ると思います。